

ステレオマイクロホン Stereo Microphone

取扱説明書/Operating Instructions/Mode d'emploi/Bedienungsanleitung/Manual de instrucciones/Gebbruiksaanwijzing/Bruksanvisning/Istruzioni per l'uso/Manual de instruções/Руководство по использованию/使用説明書/使用说明书/작동 지침서/تعليمات التشغيل

ECM-HST1

©2005 Sony Corporation Printed in Japan

お買い上げいただきありがとうございます。

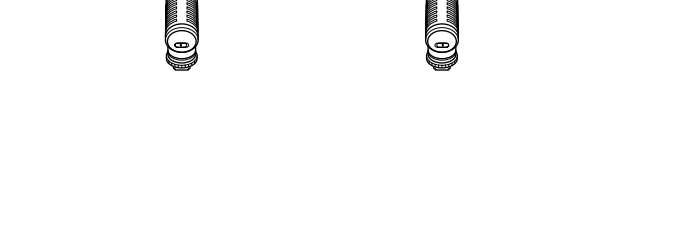
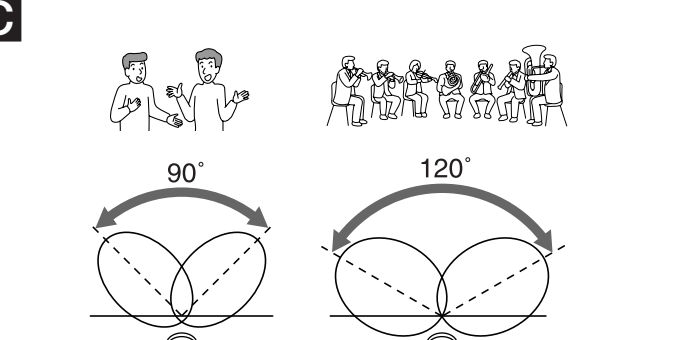
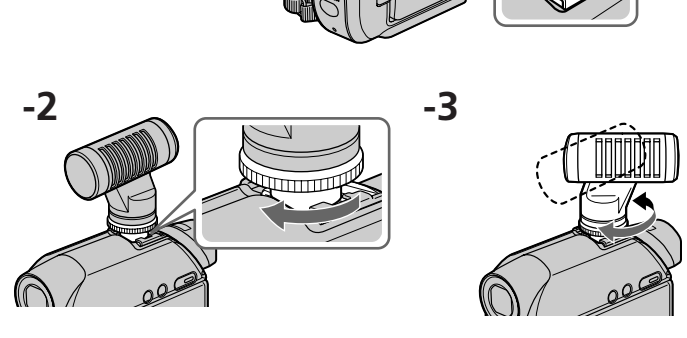
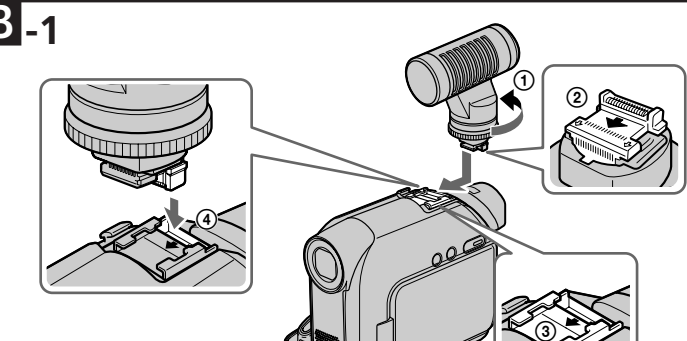
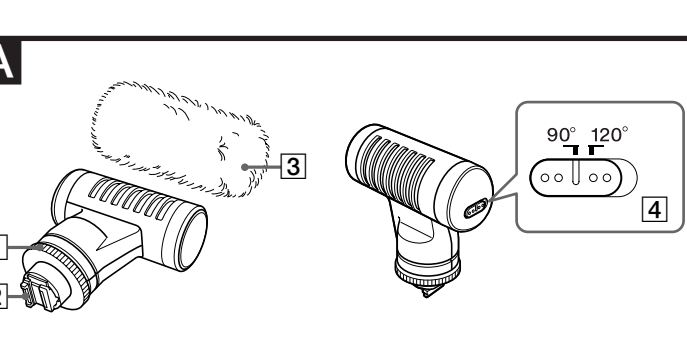
警告 取扱製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このマークの周辺は、ソーニー（株）のビデオ機器のアクティブインターフェースシューシステムに対応しています。このシステムを搭載したビデオ機器と製品を組み合わせることで、目的に合わせた効果的な撮影が簡単に行えます。

http://www.sony.net/

この製品は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インクを使用しています。
Printed on 100% recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.



本機は各種おまかせ機能が搭載されていますので、お買い上げの際、お受け取ってください。
* 所在地の記入および記載内容をお読みの上、大切に保存してください。
* 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
アフターサービス
弊メーカーにはおまかせエックをこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合の悪いときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

主な仕様
形式 MS (Mid-Side) 方式
周波数特性 150～10,000Hz
指向特性 90度と120度の2段階切り換え (イラストB参照)
使用温度 0℃～40℃
保存温度 -10℃～60℃
外形寸法 約32mm×74.2mm×66.5mm (最大突起部を除く)
約74mm
重量 ステレオマイクロホン (1)、ウインドスクリーン (1)、ボーズ (1)、印刷用一式
本機の種類および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

警告 安全のために

ソーニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことをお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
この1つ安全のためにの注意事項をよくお読みなさい。
- 故障した後の取り扱い
製品がけいこやたぶら、破損しているの気づいたら、すぐにお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターへ修理をご依頼ください。
- 万一、異音が発生したら
お買い上げ店または、弊社へお問い合わせください。

- ① ビデオカメラから取りはずす
- ② お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターへ修理をご依頼する

警告表示の意味
この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり別の事故に巻き込まれることがあります。

注意を促す記号
行為を禁止する記号

警告 下記の注意事項を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

内部を触れない
感電の原因となることがあります。感電の恐れや修理はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湿気の高い場所や直射日光のある場所には置かない
故障の原因となります。

落としたりぶついたりしない
故障の原因となります。

注意 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損傷を与えることがあります。

主な特徴
本機は、アクティブインターフェースシュー搭載のビデオカメラで使用できます。
詳しくは、お買いのビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
* MS (Mid-Side) ステレオ方式の採用により、臨場感あふれる録音ができます。
* 收音向きにより指向性（音の広がり）を90度と120度の2段階に切り換えることができます。

取り扱い上の注意
* マイクロホンは精密機器です。落としたり、たたいたり、強い衝撃を与えないでください。
* 多湿多塵の場所での使用、保存は避けてください。
* 使用中、マイクロホンをスピーカーに近づけると、「ピー」という音が発生することがあります（ハミング現象）。その場合は、マイクロホンとスピーカーの距離をできるだけ離すか、スピーカーの音量を下げてください。
* 使用中にマイクロホンに触れると、ノイズとして録音されてしまいます。髪の色や髪などに触れないようにご注意ください。
* 録音中に指向角を切り換えると、ノイズが入ることがあります。

各部の名称 (イラストB参照)
① 固定つまみ
② シューコネクタ（端子部）
③ ウインドスクリーン
マイクにかぶせて使用するごとにより、風や塵が直接あたるときに発生する「ポコポコ」という雑音を減らします。
ご注意
この特性上、起毛が抜けやすいので丁寧に扱いください。また、水洗いできません。濡れた場合はドライヤーで、手にとされる程度の温度で丁寧に乾燥させてください。

④ 指向主軸角切り換えスイッチ
收音する対象により切り換えます。

90° 広がり感が少ない高音や速く音を收音するとき（強弱の切り換え）
120° 広がり感のある低音や遅く音を收音するとき（コンラートや満席など）

上の表の内容は目安です。お客様の好みに合わせて切り換えてください。

取り付けかた (イラストB参照)
1 本機の固定つまみが反時計方向①に回っているを確認する (イラストB参照)。
2 本機の前面にある矢印②とビデオカメラにある印印の方向を合わせる (イラストB参照)。
3 本機のシューコネクタ（端子部）をビデオカメラ凹部③にはめ込み、矢印③の方向にスライドさせる (イラストB参照)。
4 固定つまみ④を指先で押さえるまで時計方向に回し固定する (イラストB参照)。
5 本機の正面を、被写体方向に回転させる。本機は180度以上回転します (イラストB参照)。

取りはずすとき
1 固定つまみを反時計方向に回してゆるめる。
2 上から押しながら取り付け方向と反対に引き出してはずす。
ご注意
本機が差し込みないときは、固定つまみをとまるまで反時計方向に回してください。固定ロックが解除されます。

保証書とアフターサービス
保証書
この製品には保証書が付添されていますので、お買い上げの際、お受け取ってください。
* 所在地の記入および記載内容をお読みの上、大切に保存してください。
* 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
アフターサービス
弊メーカーにはおまかせエックをこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合の悪いときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

Type MS (Mid-Side) stereo system
Frequency response 150 - 10,000 Hz
Pickup pattern 90° or 120°, 2-step switching (see illustration B)
Operating temperature 0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F)
Storage temperature -10 °C to 60 °C (14 °F to 140 °F)
Dimensions Approx. 32 mm × 74.2 mm × 66.5 mm (1.5/16 × 3 × 2.5/8 inches) (excluding projecting parts)
Température de fonctionnement 0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)
Température de stockage -10 °C à 60 °C (14 °F à 140 °F)
Diagramme directionnel environ 32 mm × 74,2 mm × 66,5 mm (1.5/16 x 3 x 2.5/8 po.) (parties saillantes non comprises)
Mass Approx. 47 g (1.7 oz)
Included items Stereo microphone (1), Wind screen (1), Carrying pouch (1), Set of printed documentation

Design and specifications are subject to change without notice.

Active Interface Shoe
This mark indicates the Active Interface Shoe System for use with Sony video products. Video components and accessories equipped with this system are designed to make effective recording simple.

Active Interface Shoe
Ce label indique que le système de griffe Active Interface Shoe conçu pour les produits vidéo Sony. Les composants vidéo et accessoires dotés de ce système permettent une prise de vue simple et efficace.

テクニカルインフォメーションセンターへ専用上での不明な点や技術的な質問のご相談、および修理受付の窓口です。
別添の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また、修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定配達にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。
電話のおかけ
電話番号 0564-62-4879
受付時間 月～金曜日 午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話される際、本機の型名 (ECM-HST1) をお知らせください。
より迅速な対応が可能な場合があります。

Before operating this unit, please read this manual thoroughly and retain it for future reference.

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)
This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Features
This microphone is designed to be used with a camcorder equipped with the Active Interface Shoe. For details, refer to the operating instructions of your camcorder.
• The MS (Mid-Side) Stereo System enables a natural sound pick up, delivering a stereo sound image with superb clarity.
• The system stéréo MS (Mid-Side) permet d'obtenir des prises de son naturelles et une image stéréo sonore d'une extrême clarté.
• The pickup pattern (affecting the soundstage width) can be set to 90° or 120° according to the sound source.

Caractéristiques
Ce microphone peut être utilisé avec un caméscope doté d'une griffe Active Interface Shoe. Pour plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi de votre caméscope.
• Le système stéréo MS (Mid-Side) permet d'obtenir des prises de son naturelles et une image stéréo sonore d'un extrême clarté.
• Le diagramme directionnel (conditionnant l'angle de prise du son) peut être réglé à 90° ou 120°, selon la source sonore.

Precautions
• The microphone is very sensitive. Do not drop, knock, or subject it to excessive shock.
• Keep the microphone away from extremely high temperatures and humidity.
• If the microphone is placed near speakers, a howling effect (acoustic feedback) may occur. If this happens, place the microphone farther away from the speakers, or lower the volume of the speaker.
• If you touch the microphone during recording, noise will be recorded. Be careful not to touch the microphone, especially with your hair, head attire, etc.
• If you change the pickup pattern switch setting of the microphone during recording, noise may occur.

Identifying the parts (see illustration A)
① Lock knob
② Shoe connector (terminal)
③ Wind screen
Place on the microphone to reduce wind or breath/pop noise.
Note
Handle the wind screen carefully as the synthetic fur material is quite fragile. Do not wash the wind screen in water. If the wind screen gets wet, dry it carefully using a blow dryer set to medium heat (air flow should be warm on your hand, not hot).

④ Pickup pattern switch
Set according to the sound source.

Attaching the microphone (see illustration B)
1 Ensure that the lock knob of the microphone is turned fully counterclockwise (see illustration B-1).
2 Orient the arrow on the bottom of the microphone ② to the arrow on your camcorder ③ (see illustration B-1).
3 Insert the shoe connector (terminal) of the microphone into the slot ④ on your camcorder, and then slide the microphone in the direction of the arrow ⑤ (see illustration B-1).
4 Turn the lock knob clockwise until it clicks (see illustration B-2).
2 Point the front of the microphone toward the subject. The microphone can be rotated more than 180 degrees (see illustration B-3).

To detach the microphone
1 Loosen the lock knob counterclockwise.
2 Press down the microphone and slide it in the opposite direction when attaching.

Note
If it is difficult to attach the microphone, turn the lock knob counterclockwise until it stops. The lock will be released.

Specifications
Type MS (Mid-Side) stereo system
Frequency response 150 - 10,000 Hz
Pickup pattern 90° or 120°, 2-step switching (see illustration B)
Operating temperature 0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F)
Storage temperature -10 °C to 60 °C (14 °F to 140 °F)
Dimensions Approx. 32 mm × 74.2 mm × 66.5 mm (1.5/16 × 3 × 2.5/8 inches) (excluding projecting parts)
Température de fonctionnement 0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)
Température de stockage -10 °C à 60 °C (14 °F à 140 °F)
Diagramme directionnel environ 32 mm × 74,2 mm × 66,5 mm (1.5/16 x 3 x 2.5/8 po.) (parties saillantes non comprises)
Mass Approx. 47 g (1.7 oz)
Included items Stereo microphone (1), Wind screen (1), Carrying pouch (1), Set of printed documentation

Remarque
S'il est difficile de mettre le microphone en place, tournez le bouton de verrouillage dans le sens anti-horaire, jusqu'à la butée. Il sera déverrouillé.

Spécifications
Type Système stéréo MS (Mid-Side)
Réponse en fréquence 150 à 10 000 Hz
Diagramme directionnel 90°ou 120°, interrupteur à deux positions (voir l'illustration B)
Température de fonctionnement 0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)
Température de stockage -10 °C à 60 °C (14 °F à 140 °F)
environ 32 mm × 74,2 mm × 66,5 mm (1.5/16 x 3 x 2.5/8 po.) (parties saillantes non comprises)
Poids environ 47 g (1,7 on.)
Articles inclus Microphone stéréo (1), bonnette anti-vent (1), étui de transport (1), jeu de documents imprimés

The conception and les spécifications sont sujettes à modification sans préavis.

Active Interface Shoe
This mark indicates the Active Interface Shoe System for use with Sony video products. Video components and accessories equipped with this system are designed to make effective recording simple.

Active Interface Shoe
Ce label indique que le système de griffe Active Interface Shoe conçu pour les produits vidéo Sony. Les composants vidéo et accessoires dotés de ce système permettent une prise de vue simple et efficace.

Avant d'utiliser cet appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et conservez-le pour toute référence ultérieure.

Traitement des appareils électriques et électroniques en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)
Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers. Il doit être remis à un point de collecte approprié pour le recyclage des équipements électriques et électroniques. En s'assurant que ce produit est bien mis au rebut de manière appropriée, vous aiderez à prévenir les conséquences négatives potentielles pour l'environnement et la santé humaine. Le recyclage des matériaux aidera à conserver les ressources naturelles. Pour toute information supplémentaire au sujet du recyclage de ce produit, vous pouvez contacter votre municipalité, votre déchetterie ou le magasin où vous avez acheté le produit.

Caractéristiques
Ce microphone peut être utilisé avec un caméscope doté d'une griffe Active Interface Shoe. Pour plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi de votre caméscope.
• Le système stéréo MS (Mid-Side) permet d'obtenir des prises de son naturelles et une image stéréo sonore d'une extrême clarté.
• Le diagramme directionnel (conditionnant l'angle de prise du son) peut être réglé à 90° ou 120°, selon la source sonore.

Précautions
• Le microphone est conçu pour être fragile. Ne le laissez pas tomber, ne le cognez pas et ne le soumettez pas à un choc violent.
• N'exposez pas le microphone à des températures extrêmement élevées et à l'humidité.
• Protégez le microphone pour éviter hauts températures et humidité.
• Si le microphone se trouve à proximité de haut-parleurs, un effet Larsen (rétroaction acoustique) peut se produire. Dans ce cas, éloignez le microphone des haut-parleurs ou diminuez le volume des haut-parleurs.
• Si vous touchez le microphone pendant un enregistrement, des parasites risquent d'être enregistrés. Veillez à ne pas toucher le microphone, par exemple avec les cheveux, un chapeau ou accessoire pour cheveux, etc.
• Des parasites peuvent être occasionnés si vous modifiez le réglage du commutateur du diagramme directionnel du microphone pendant un enregistrement.

Identification des pièces (voir l'illustration A)
① Bouton de verrouillage
② Connecteur de la griffe (borne)
③ Bonnette anti-vent
Placez-la sur le microphone pour réduire le bruit du vent ou de la respiration et le bruit de l'éjection.
Remarque
Manipulez la bonnette anti-vent avec précaution car la fourrure synthétique est relativement fragile. Ne lavez pas la bonnette anti-vent à l'eau. Si elle est mouillée, séchez-la soigneusement avec un sèche-cheveux diffusant une chaleur moyenne (le flux d'air sur votre main doit être chaud et non brûlant).

④ Commutateur du diagramme directionnel
Réglez-le en fonction de la source sonore.
90° Pour capter un son étroit ou éloigné (conversation, solo d'instruments de musique, etc.)
120° Pour capter un son large ou proche (concert, pièce de théâtre, etc.)

Reportez-vous au tableau ci-dessus pour obtenir les standards approximatifs. Sélectionnez le diagramme directionnel de votre choix.

Fixation du microphone (voir l'illustration B)
1 Vérifiez que le bouton de verrouillage du microphone est complètement tourné dans le sens anti-horaire (voir l'illustration B-1).
2 Orientez la flèche située sous le microphone ② vers la flèche du caméscope ③ (voir l'illustration B-1).
3 Insérez le connecteur (la borne) de la griffe du microphone dans la fente ④ de votre caméscope, puis faites glisser le microphone dans le sens de la flèche ⑤ (voir l'illustration B-1).
4 Tournez le bouton de verrouillage dans le sens horaire, jusqu'à ce que vous entendiez un déclic (voir l'illustration B-2).
5 Orientez l'avant du microphone vers le sujet. Vous pouvez faire pivoter le microphone à plus de 180 degrés (voir l'illustration B-3).

Pour retirer le microphone
1 Desserrez le bouton de verrouillage en le tournant dans le sens anti-horaire.
2 Appuyez sur le microphone et faites-le glisser dans le sens inverse de celui de sa mise en place.

Remarque
Si il est difficile de mettre le microphone en place, tournez le bouton de verrouillage dans le sens anti-horaire, jusqu'à la butée. Il sera déverrouillé.

Spécifications
Type Système stéréo MS (Mid-Side)
Réponse en fréquence 150 à 10 000 Hz
Diagramme directionnel 90°ou 120°, interrupteur à deux positions (voir l'illustration B)
Température de fonctionnement 0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)
Température de stockage -10 °C à 60 °C (14 °F à 140 °F)
environ 32 mm × 74,2 mm × 66,5 mm (1.5/16 x 3 x 2.5/8 po.) (parties saillantes non comprises)
Poids environ 47 g (1,7 on.)
Articles inclus Microphone stéréo (1), bonnette anti-vent (1), étui de transport (1), jeu de documents imprimés

The conception and les spécifications sont sujettes à modification sans préavis.

Active Interface Shoe
This mark indicates the Active Interface Shoe System for use with Sony video products. Video components and accessories equipped with this system are designed to make effective recording simple.

Active Interface Shoe
Ce label indique que le système de griffe Active Interface Shoe conçu pour les produits vidéo Sony. Les composants vidéo et accessoires dotés de ce système permettent une prise de vue simple et efficace.

Lesen Sie diese Anleitung vor Inbetriebnahme des Geräts bitte genau durch und bewahren Sie sie zum späteren Nachschlagen sorgfältig auf.

Entsorgung von gebrauchten elektrischen und elektronischen Geräten (Anzuwenden in den Ländern der Europäischen Union und anderen europäischen Ländern mit einem separaten Sammelsystem für diese Geräte)
Das Symbol auf dem Produkt oder seiner Verpackung weist darauf hin, dass dieses Produkt nicht als normaler Haushaltsabfall zu behandeln ist, sondern an einer Annahmestelle für das Recycling von elektrischen und elektronischen Geräten abgegeben werden muss. Durch Ihren Beitrag zum korrekten Entsorgung dieses Produkts schützen Sie die Umwelt und die Gesundheit Ihrer Mitmenschen. Umwelt und Gesundheit werden durch falsches Entsorgen gefährdet. Materialrecycling hilft den Verbrauch von Rohstoffen zu verringern. Weitere Informationen über das Recycling dieses Produkts erhalten Sie von Ihrer Gemeinde, den kommunalen Entsorgungsunternehmen oder dem Geschäft, in dem Sie das Produkt gekauft haben.

Merkmale und Funktionen

Dieses Mikrofon wurde für die Verwendung mit einem Camcorder mit Active Interface Shoe konzipiert. Weitere Erläuterungen finden Sie in der Bedienungsanleitung zum Camcorder.
• Das MS-Stereosystem (Mitte-Seite) ermöglicht eine natürliche Tonaufnahme und erzeugt ein Stereobild in außergewöhnlicher Qualität.
• Die Richtcharakteristik, die die Stereobasisbreite bestimmt, kann je nach Tonquelle auf 90° oder 120° eingestellt werden.

Sicherheitsmaßnahmen

• Das Mikrofon ist sehr empfindlich. Lassen Sie es nicht fallen und setzen Sie es keinen heftigen Stößen aus.
• Schützen Sie das Mikrofon vor extrem hohen Temperaturen und Feuchtigkeit.
• Wenn das Mikrofon in der Nähe von Lautsprechern verwendet wird, kann es zu einer akustischen Rückkopplung (Heulton) kommen. Stellen Sie das Mikrofon in einem solchen Fall weiter entfernt von den Lautsprechern auf. Oder verringern Sie die Lautstärke der Lautsprecher.
• Wenn Sie das Mikrofon während der Aufnahme berühren, werden Störgeräusche aufgezeichnet. Achten Sie darauf, das Mikrofon nicht zu berühren, insbesondere mit den Haaren, Schmuck usw.
• Wenn Sie den Schalter für die Richtcharakteristik des Mikrofons während der Aufnahme verstellen, kann es zu Störgeräuschen kommen.

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente (siehe Abbildung A)
① Sperrknopf
② Schuhanschluss
Windschutz
Zum Anbringen am Mikrofon, um Wind- oder Atemgeräusche usw. zu verringern.
Hinweis
Behandeln Sie den Windschutz mit Sorgfalt, da das Kunststofffell recht empfindlich ist. Waschen Sie den Windschutz nicht mit Wasser. Wenn der Windschutz nass geworden ist, trocknen Sie ihn sorgfältig mit einem Föhn auf mittlerer Heizstufe. Der Luftstrom sollte auf der Haut warm, aber nicht heiß zu spüren sein.

④ Schalter für Richtcharakteristik
Stellen Sie den Schalter je nach Tonquelle ein.

90° Beim Aufnehmen von Tönen mit geringem Klangraum oder bei entfernter Tonquelle (Unterhaltung, Soloinstrument usw.)
120° Beim Aufnehmen von Tönen mit breitem Klangraum oder bei naher Tonquelle (Konzert, Theateraufführung usw.)
Die Tabelle oben bietet grobe Richtlinien. Wählen Sie die Richtcharakteristik nach Bedarf aus.

90° Beim Aufnehmen von Tönen mit geringem Klangraum oder bei entfernter Tonquelle (Unterhaltung, Soloinstrument usw.)
120° Beim Aufnehmen von Tönen mit breitem Klangraum oder bei naher Tonquelle (Konzert, Theateraufführung usw.)
Die Tabelle oben bietet grobe Richtlinien. Wählen Sie die Richtcharakteristik nach Bedarf aus.

Anbringen des Mikrofons (siehe Abbildung B)
1 Vergeissern Sie sich, dass der Sperrknopf am Mikrofon ganz gegen den Uhrzeigersinn gedreht ist (siehe Abbildung B-1).
2 Richten Sie den Pfeil an der Unterseite des Mikrofons ② an dem Pfeil am Camcorder ③ aus (siehe Abbildung B-1).
3 Setzen Sie den Schuhanschluss des Mikrofons in den Schlitz ④ am Camcorder ein und schieben Sie das Mikrofon in Richtung des Pfeils ⑤ (siehe Abbildung B-1).
4 Drehen Sie den Sperrknopf im Uhrzeigersinn, bis er mit einem Klicken einrastet (siehe Abbildung B-2).
5 Richten Sie die Vorderseite des Mikrofons auf das Motiv. Das Mikrofon lässt sich um mehr als 180 Grad drehen (siehe Abbildung B-3).

So nehmen Sie das Mikrofon ab
1 Lösen Sie den Sperrknopf gegen den Uhrzeigersinn.
2 Drücken Sie das Mikrofon nach unten und schieben Sie es in entgegengesetzter Richtung wie beim Anbringen.

Hinweis
Wenn sich das Mikrofon nur schwer anbringen lässt, drehen Sie den Sperrknopf bis zum Anschlag gegen den Uhrzeigersinn. Damit wird die Sperre aufgehoben.

Technische Daten
Type MS-Stereosystem (Mitte-Seite)
Frequenzgang 150 - 10.000 Hz
Richtcharakteristik 90° oder 120°, 2-Stufen-Schaltung (siehe Abbildung B)
Betriebstemperatur 0 °C bis 40 °C
Lagertemperatur -10 °C bis 60 °C
Abmessungen ca. 32 mm × 74,2 mm × 66,5 mm (ohne vorstehende Teile)
Gewicht ca. 47 g
Stereo-mikrofon (1), Windschutz (1), Tragebeutel (1), Anleitungen

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Active Interface Shoe
Dieses Logo kennzeichnet das Active Interface Shoe-System für Videoprodukte von Sony. Mit diesem System ausgestattete Videogeräte und Zubehörtelce machen effektive Aufnahmen denkbar einfach.

Antes de utilizar esta unidad, lea este manual atentamente y consérvelo para consultarlo en el futuro.

Nombre del producto: Micrófono de sonido envolvente
Modelo: ECM-HST1

POR FAVOR LEA DETALLADAMENTE ESTE MANUAL DE INSTRUCCIONES ANTES DE CONECTAR Y OPERAR ESTE EQUIPO.

RECUERDE QUE UN MAL USO DE SU APARATO PODRÍA ANULAR LA GARANTÍA.

Tratamiento de los equipos eléctricos y electrónicos al final de su vida útil (Aplicable en la Unión Europea y en países europeos con sistemas de recogida selectiva de residuos)
Este símbolo en su equipo o su empaque indica que el presente producto no puede ser tratado como residuos domésticos normales, sino que deben entregarse en el correspondiente punto de recogida de equipos eléctricos y electrónicos. Asegurándose de que este producto es desechado correctamente. Ud. está ayudando a prevenir las consecuencias negativas para el medio ambiente y la salud humana que podrían derivarse de la incorrecta manipulación de este producto. El reciclaje de materiales ayuda a conservar las reservas naturales. Para recibir información detallada sobre el reciclaje de este producto, por favor, contacte con su ayuntamiento, su punto de recogida más cercano o el distribuidor donde adquirió el producto.

Características
Este micrófono está diseñado para utilizarlo con una videocámara equipada con Active Interface Shoe. Para obtener información detallada, consulte el manual de instrucciones de la videocámara.
• El sistema estéreo MS (medio-lateral) permite la captación de sonido natural, ofreciendo una imagen con sonido estéreo de excelente calidad.
• Patrón de captación de sonido (que afecta a la longitud del mismo) ajustable a 90° ó 120° en función de la fuente de sonido.

Precauciones
• El micrófono es muy sensible. No lo deje caer ni lo golpee o esponga a impactos fuertes.
• Mantenga el micrófono alejado de lugares con humedad y temperaturas muy altas.
• Es posible que se produzca un efecto de zumbido (reacción acústica) si coloca el micrófono cerca de altavoces. En tal caso, aleje lo de altavoces o baje el volumen del altavoz.
• Si toca el micrófono durante la grabación, se grabará un ruido. Procure no tocar el micrófono, en especial con el pelo o atenuados de la cabeza, entre otros.
• Si cambia el ajuste del selector de patrón de captación de sonido del micrófono durante la grabación, es posible que se produzca ruido.

Identificación de los componentes (consulte la figura A)
① Mando de bloqueo
② Conector de la zapata (terminal)
③ Espuma protectora
Colóquela en el micrófono para atenuar los ruidos provocados por el viento o la respiración.
Nota
Manipule la espuma protectora con cuidado, ya que el material de piel sintética es bastante frágil. No lave la espuma protectora con agua. Si la espuma protectora se moja, séquela con cuidado utilizando un secador de pelo a temperatura media (debe notar su mano el aire templado, no caliente).
④ Interruptor de patrón de captación de sonido
Ajustéelo dependiendo de la fuente del sonido.
90° Al captar un sonido de poca intensidad o distante (una conversación, el sonido de un solo instrumento, etc.)
120° Al captar un sonido de mucha intensidad o cercano (un concierto, una representación teatral, etc.)
Consulte la tabla anterior para obtener un valor estándar aproximado. Elija el patrón de captación de sonido que más se ajuste a sus preferencias.

Colocación del micrófono (consulte la figura B)
1 Asegúrese de que el mando de bloqueo del micrófono esté girado completamente hacia la izquierda④ (consulte la figura B-1).
2 Oriente la flecha de la parte inferior del micrófono ② hacia la flecha de la videocámara ③ (consulte la figura B-1).
3 Inserte el conector de la zapata (terminal) del micrófono en la ranura ④ de la videocámara y, a continuación, deslice el micrófono en el sentido de la flecha ⑤ (consulte la figura B-1).
4 Gire el mando de bloqueo hacia la derecha hasta que oiga un clic (consulte la figura B-2).
5 Apunte la parte frontal del micrófono hacia el motivo. El micrófono puede girarse más de 180 grados (consulte la figura B-3).

Para retirar el micrófono
1 Gire el mando de bloqueo hacia la izquierda para aflojarlo.
2 Presione el micrófono hacia abajo y deslícelo en la dirección opuesta a la que siguió para colocarlo.

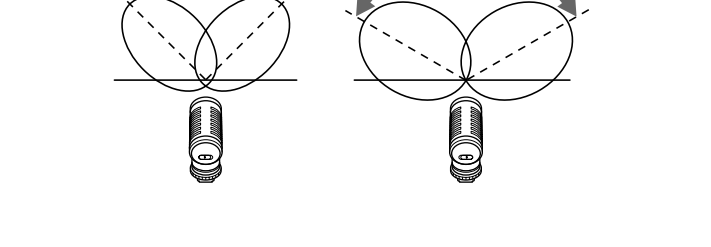
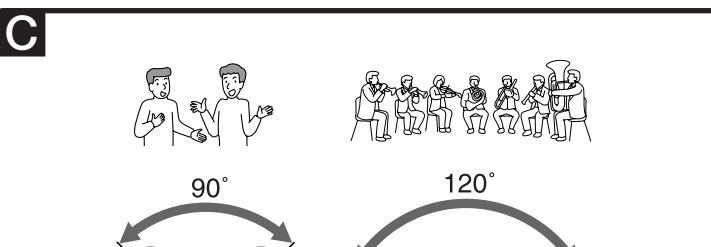
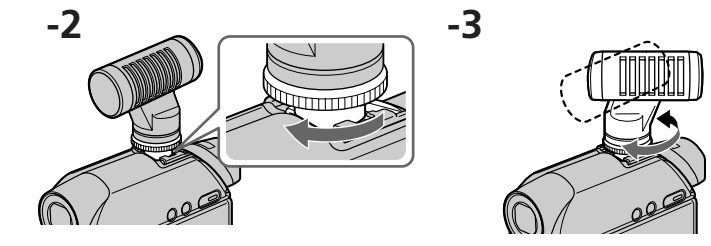
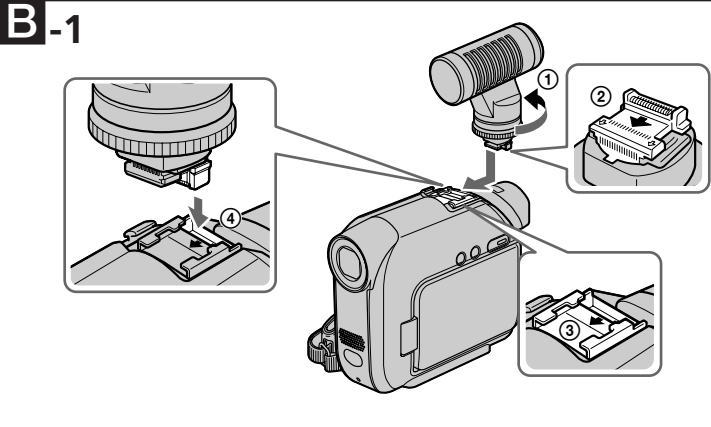
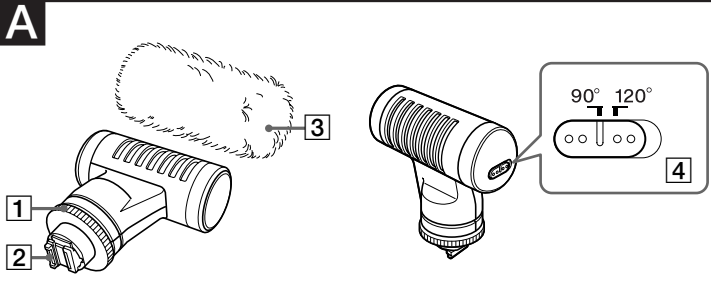
Nota
Si le resulta difícil colocar el micrófono, gire el mando de bloqueo hacia la izquierda hasta que se detenga. El mando se desbloqueará.

Specificaciones
Tipo Sistema estéreo MS (medio-lateral)
Respuesta de frecuencia 150 - 10.000 Hz
Patrón de captación de sonido 90° o 120°, interruptor de 2 pasos (consulte la figura B)
Temperatura de funcionamiento De 0 °C a 40 °C
Temperatura de almacenamiento De -10 °C a 60 °C
Dimensiones 32 mm × 74,2 mm × 66,5 mm aproximadamente (excluyendo partes salientes)
Peso 47 g aproximadamente
Elementos incluidos Micrófono estéreo (1), espuma protectora (1), funda de transporte (1), juego de documentación impresa

Para retirar el micrófono
1 Gire el mando de bloqueo hacia la izquierda para aflojarlo.
2 Presione el micrófono hacia abajo y deslícelo en la dirección opuesta a la que siguió para colocarlo.

Nota
Si le resulta difícil colocar el micrófono, gire el mando de bloqueo hacia la izquierda hasta que se detenga. El mando se desbloqueará.

Specificaciones
Tipo Sistema estéreo MS (medio-lateral)
Respuesta de frecuencia 150 - 10.000 Hz
Patrón de captación de sonido 90°



Italiano
Prima di utilizzare l'apparecchio, leggere attentamente il manuale e conservarlo per eventuali riferimenti futuri.

Trattamento del dispositivo elettrico od elettronico a fine vita (Applicable in tutti i paesi dell'Unione Europea e in quelli con sistema di raccolta differenziata)
Questo simbolo sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere considerato come un normale rifiuto domestico, ma deve invece essere consegnato ad un punto di raccolta appropriato per il riciclo di apparecchi elettrici ed elettronici. Assicurandovi che questo prodotto sia smaltito correttamente, voi contribuirete a prevenire potenziali conseguenze negative per l'ambiente e per la salute che potrebbero altrimenti essere causate dal suo smaltimento inadeguato. Il riciclaggio dei materiali aiuta a conservare le risorse naturali. Per informazioni più dettagliate circa il riciclaggio di questo prodotto, potete contattare l'ufficio comunale, il servizio locale di smaltimento rifiuti oppure il negozio dove l'avete acquistato.

Caratteristiche

Questo microfono è stato progettato per essere utilizzato con una videocamera dotata del sistema Active Interface Shoe. Per ulteriori informazioni, consultate le Istruzioni per l'uso della videocera.

- Il sistema stereo MS (Mid-Side) consente di cogliere l'audio in modo naturale e di fornire un'immagine audio stereo di nitidezza superiore.
- Non sottopore il microfono a temperature ed umidità eccessivamente elevate
- Se il microfono si trova in prossimità di diffusori, è possibile che si verifichino disturbi (feedback). In tal caso, allontanare il microfono dai diffusori oppure abbassare il volume dei diffusori.

Se durante la registrazione il microfono viene toccato, è possibile che vengano registrati dei disturbi. Prestare attenzione a non toccare il microfono, in particolare modo con i capelli, con cappelli e così via.

- Se durante la registrazione viene modificata l'impostazione dell'interruttore del modello di cattura del microfono, è possibile che si verifichino eventuali disturbi.

Identificazione delle parti (vedere la figura A)

1 Manopola di bloccaggio

2 Connettor dell'attacco (terminale)

3 Protezione anti-vento

Collocare la protezione sul microfono per ridurre i disturbi causati dal vento o dal respiro.

Nota
Maneggiare la protezione anti-vento con cura, poiché il materiale sintetico è piuttosto delicato. Non bagnare la protezione anti-vento. Se dovesse bagnarsi, asciugarla con cura utilizzando un asciugacapelli impostato su un valore medio (verificare con la mano che il getto d'aria non sia eccessivamente caldo).

4 Interruttore modello di cattura

Impostare in base alla sorgente audio.

- 90° Durante la cattura di un suono con un effetto sonoro ristretto o di un suono distante (conversazioni, strumenti musicali e così via)
- 120° Durante la cattura di un suono con un effetto sonoro ampio o di un suono vicino (concerti, spettacoli teatrali e così via)

Per uno standard approssimativo, fare riferimento alla tabella indicata. Selezionare il modello di cattura desiderato in base alle proprie esigenze.

Collegamento del microfono (vedere la figura B)

- Verificare che la manopola di bloccaggio del microfono sia ruotata completamente in senso antiorario ❶ (vedere la figura B-1).
- Allineare la freccia nella parte inferiore del microfono ❷ con la freccia presente sulla videocamera ❸ (vedere la figura B-1).
- Inserite il connettore del sistema Active Interface Shoe nel microfono nell'alloggiamento ❹ sulla videocamera, quindi far scorrere il microfono in direzione della freccia ❺ (vedere la figura B-1).
- Ruotare la manopola di bloccaggio in senso orario fino ad udire uno scatto (vedere la figura B-2).
- Puntare la parte anteriore del microfono in direzione del soggetto. Il microfono può essere ruotato di oltre 180 gradi (vedere la figura B-3).

Per rimuovere il microfono

- Ruotare la manopola di bloccaggio in senso antiorario per allentarla.
- Premere il microfono, quindi farlo scorrere nella direzione opposta rispetto al relativo collegamento.

Nota

In caso di problemi durante il collegamento del microfono, ruotare la manopola di bloccaggio in senso antiorario fino a quando non si arresta. In questo modo, viene rilasciato il blocco.

Caratteristiche tecniche

| | |
|-------------------------|--|
| Tipo | Sistema estéreo MS (Mid-Side) |
| Risposta in frequenza | 150 - 10.000 Hz |
| Modello di cattura | 90° o 120°, selezione di 2 punti (vedere al figura B) |
| Temperatura di utilizzo | da 0 °C a 40 °C |
| Temperatura di deposito | da -10 °C a 60 °C |
| Dimensioni | Circa 32 mm x 74,2 mm x 66,5 mm (escluse le parti sporgenti) |
| Peso | Circa 47 g |
| Accessori inclusi | Microfono stereo (1), Protezione anti-vento (1), Custodia di trasporto (1), Corredo di documentazione stampa |

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Active Interface Shoe

Questo simbolo indica il sistema Active Interface Shoe System progettato per essere utilizzato con i prodotti video Sony. Gli apparecchi video e gli accessori dotati di questo sistema sono stati appositamente ideati per semplificare la realizzazione di registrazioni di qualità.

Português

Antes de utilizar este aparelho, leia este manual até ao fim e guarde-o para consultas futuras.

Tratamento de Equipamentos Eléctricos e Electrónicos no final da sua vida útil (Aplicável na União Europeia e em países Europeus com sistemas de recolha selectiva de resíduos)
Este símbolo, colocado no produto ou na sua embalagem, indica que este não deve ser tratado como resíduo urbano indiferenciado. Deve sim ser colocado num ponto de recolha destinado a resíduos de equipamentos eléctricos e electrónicos. Assegurando-se que este produto é correctamente depositado, irá prevenir potenciais consequências negativas para o ambiente bem como para a saúde, que de outra forma poderiam ocorrer pelo mau manuseamento destes produtos. A reciclagem dos materiais contribuirá para a conservação dos recursos naturais. Para obter informação mais detalhada sobre a reciclagem deste produto, por favor contacte o município onde reside, os serviços de recolha de resíduos da sua área ou a loja onde adquiriu o produto.

Características

Para montar este microfone numa câmara de vídeo com a Active Interface Shoe. Para obter mais informações, consulte o manual de instruções da câmara de vídeo.

- O sistema estéreo MS (Mid-Side) permite captar um som natural, fornecendo uma imagem de som estéreo de grande nitidez.
- Não use o microfone em locais muito húmidos e com temperaturas extremamente elevadas.
- Se colocar o microfone perto de altifalantes, pode ouvir um som agudo (feedback acústico). Se isso acontecer, afaste o microfone o máximo possível dos altifalantes ou baixe o volume destes últimos.

Precauções

- O microfone é muito sensível. Não o deixe cair nem o sujeite a choques
- Não use o microfone em locais muito húmidos e com temperaturas extremamente elevadas.
- Se colocar o microfone perto de altifalantes, pode ouvir um som agudo (feedback acústico). Se isso acontecer, afaste o microfone o máximo possível dos altifalantes ou baixe o volume destes últimos.
- Se tocar no microfone durante a gravação, o ruído fica gravado. Cuidado para não tocar no microfone, especialmente com o cabelo, acessórios para o cabelo, etc.
- Se mudar a programação do interruptor do padrão de captação do microfone durante a gravação, pode provocar ruído.

Identificar as peças (consulte a ilustração A)

1 Botão de bloqueio

2 Conector (terminal) da base

3 Protecção contra o vento

Coloque-a sobre o microfone de maneira a reduzir o ruído do vento e da respiração.

Nota
Na protecção contra o vento com cuidado, pois a pele sintética é bastante frágil. Não lave a protecção contra o vento com água. Se a protecção contra o vento se molhar, seque-a com cuidado com um secador regulado para médio (or deve ser quente, mas sem queimar).

4 Interrupitor do padrão de captação

Coloque-o numa das posições em função da fonte de som.

- 90° Se captar um som com uma amplitude reduzida, ou um som distante (conversa, instrumentos a solo, etc.)
- 120° Se captar um som com uma grande amplitude, ou um som próximo (concerto, teatro, etc.)

Consulte os valores aproximados na tabela acima. Escolha o padrão de captação de acordo com a sua preferência.

Montar o microfone (consulte a ilustração B)

- Rode totalmente o botão de bloqueio do microfone no sentido contrário aos dos ponteiros do relógio ❶ (consulte a ilustração B-1).
- Junte a seta existente na parte inferior do microfono ❷ a seta existente na câmara de vídeo ❸ (consulte a ilustração B-1).
- Introduza o conector (terminal) da base do microfone na ranhura ❹ da câmara de vídeo e faça deslizar o microfone na direcção indicada pela seta ❺ (consulte a ilustração B-1).
- Rode o botão de bloqueio no sentido dos ponteiros do relógio até ouvir um estalo (consulte a ilustração B-2).
- Aposte a parte da frente do microfone para o motivo. É possível rodar o microfone a mais de 180 graus (consulte a ilustração B-3).

Para desmontar o microfone

- Desaperte o botão de bloqueio no sentido contrário aos dos ponteiros do relógio.
- Faça pressão no microfone e faça-o deslizar na direcção oposta à montagem.

Nota

Se tiver dificuldades em montar o microfone, rode totalmente o botão de bloqueio no sentido contrário aos dos ponteiros do relógio. Deste modo, cancela o bloqueio.

Especificações

| | |
|------------------------------|--|
| Tipo | Sistema estéreo MS (Mid-Side) |
| Resposta em frequência | 150 - 10.000 Hz |
| Padrão de captação | 90° ou 120°, alternar em 2 passos (consulte a ilustração B) |
| Temperatura de funcionamento | 0 °C a 40 °C |
| Temperatura de armazenamento | -10 °C a 60 °C |
| Dimensões | Aprox. 32 mm x 74,2 mm x 66,5 mm (excluindo as peças salientes) |
| Peso | Aprox. 47 g |
| Itens incluídos | Microfono Estéreo (1), Protecção contra o vento (1), Bolsa de transporte (1), Documentos impressos |

O design e as especificações estão sujeitos a alterações sem aviso prévio.

Active Interface Shoe

Esta marca indica a utilização do sistema Active Interface Shoe com produtos de vídeo da Sony. Os acessórios e componentes de vídeo deste sistema destinam-se a simplificar a gravação eficiente.

Русский

Перед началом эксплуатации этого устройства внимательно ознакомьтесь с данной инструкцией и храните ее под рукой на случай, если она вам понадобится.

Утилизация электрического и электронного оборудования (директива применяется в странах Евросоюза и других европейских странах, где действуют правила раздельного сбора отходов)
Данный знак на устройстве или его упаковке обозначает, что данное устройство нельзя утилизировать вместе с прочими бытовыми отходами. Оно следует сдать в соответствующий приемный пункт переработки электрического и электронного оборудования. Неправильная утилизация данного изделия может привести к потенциально негативному влиянию на окружающую среду и здоровье людей, поэтому для предотвращения подобных последствий необходимо выполнять специальные требования по утилизации этого изделия. Переработка данных материалов поможет сохранить природные ресурсы. Для получения более подробной информации о переработке этого изделия обратитесь в местные органы городского управления, службу сбора бытовых отходов или в магазин, где было приобретено изделие.

Характеристики

Этот микрофон предназначен для использования совместно с видеокамерой, оснащенной держателем для установки принадлежности.
Подробные сведения см. в инструкциях по эксплуатации видеокамеры.
• Стереосистема типа MS (Mid-Side) обеспечивает снятие естественного звука, что обеспечивает стереозвучание превосходного качества.
• Для режима звукозаписи (большинство на ширину звукового поля) может быть установлено значение 90° или 120° в зависимости от источника звука.
• При воспроизведении к микрофону во время записи будет записан шум. Не прикасайтесь к микрофону, в особенности волосами, головным убором и т.д.
• При изменении положения переключателя режима звукозаписителя во время записи может возникнуть шум.

- 鎖扣旋鈕
- 熱靴連接器（端子）
- 擋風罩
- 拾音模式轉換開關

90° 當拾取一個窄音場的聲音，或者是一個遠處的聲音（談話、樂器獨奏等）時

120° 當拾取一個寬音場的聲音，或者是一個近處的聲音（音樂會、劇院演出等）時

參照上表為一個大致的標準。

根據您的喜好選擇拾音模式。

如果麥克風難以拆下，請將鎖扣旋鈕逆時針轉到底。鎖扣鬆開。

安裝麥克風
（參見圖 B）

- 確保將麥克風的鎖扣旋鈕逆時針轉到底 ❶（參見圖 B-1）。
- 將麥克風底部箭頭方向 ❷ 指向攝像機上的箭頭方向 ❸（參見圖 B-1）。
- 將麥克風的熱靴連接器（端子）插入攝影機上的插槽 ❹，然後按箭頭方向 ❺ 滑動麥克風（參見圖 B-1）。

- 順時針轉動鎖扣旋鈕，直至旋鈕發出咯噔聲（參見圖 B-2）。

將麥克風的正面指向對象。麥克風可以旋轉 180 度以上（參見圖 B-3）。

若要拆卸麥克風

- 逆時針方向鬆開鎖扣旋鈕。
- 向下按麥克風，並按照安裝時的相反方向滑動麥克風。

註

如果麥克風難以拆下，請將鎖扣旋鈕逆時針轉到底。鎖扣鬆開。

規格

類型 MS（Mid-Side）立體聲系統

頻率響應 150 - 10000 Hz

拾音模式 90° 或 120°，2 級切換（參見圖 B）

操作溫度 0°C 至 40 °C

存儲溫度 -10°C 至 60°C

尺寸 約 32 mm x 74,2 mm x 66,5 mm（不包括突出部位）

重量 約 47 g

包含物品 立體聲麥克風（1）、擋風罩（1）、便攜袋（1）、成套印刷文件

設計和規格如有改變，恕不另行通知。

Active Interface Shoe

此標誌表示配合 Sony 視頻產品使用的主動式介面熱靴系統。本系統配備的視頻組件和附件是為了有效的錄音更為簡單。

Подсоединение микрофона (см. рисунок B)

1 Убедитесь, что фиксатор микрофона повернут против часовой стрелки ❶ до упора (см. рисунок B-1).

2 Совместите стрелку в нижней части микрофона ❷ со стрелкой на видеокамере ❸ (см. рисунок B-1).

3 Вставьте разъем держателя (терминал) микрофона в отверстие видеокамеры ❹, затем передвиньте микрофон в направлении, указанном стрелкой ❺ (см. рисунок B-1).

4 Поверните фиксатор по часовой стрелке до щелчка (см. рисунок B-2).

5 Направьте переднюю часть микрофона на источник звука. Микрофон можно поворачивать более чем на 180 градусов (см. рисунок B-3).

Снятие микрофона

1 Отверните фиксатор против часовой стрелки.

2 Нажмите на микрофон и передвиньте его в направлении, обратном направлению при установке.

Примечание

Если установка микрофона вызывает затруднение, поверните фиксатор против часовой стрелки до упора. Блокировка будет ослаблена.

Технические характеристики

Тип Стереосистема типа MS (Mid-Side)

Диапазон частот 150 - 10000 Гц

Режим звукозаписи 90° или 120°, 2-ступенчатый переключатель (см. рис. B)

Рабочая температура от 0°C до 40°C

Температура хранения от -10 °C до 60°C

Размеры Прибл. 32 мм x 74,2 мм x 66,5 мм (не включая выступающие части)

Масса Прибл. 47 г

Комплектность поставки Стереомикрофон (1), Ветровой экран (1), Пакет для переноски (1), Набор печатной документации

Конструкция и характеристики могут изменяться без предварительного уведомления.

Active Interface Shoe

Эта метка указывает на то, что система держателя для установки принадлежности может быть использована с видеооборудованием фирмы Sony. Видеоапаратура и принадлежности, оснащенные этой системой, предназначены для того, чтобы вы могли легко создать эффективную запись.

中文（繁）

操作本裝置之前，請通讀本手冊並將其保留以備將來參考。

功能

本麥克風是專為配備主動式介面熱靴的攝影機而設計。詳細說明，請參閱您攝影機的使用說明書。

- MS (Mid-Side) 立體聲系統能拾取自然聲響，傳送超清晰的立體聲影像。
- 可根據聲源設置拾音模式（影響音場寬度）至 90° 或 120°。
- 可根據聲源設置拾音模式（影響音場寬度）至 90° 或 120°。

注意事項

- 此麥克風很容易損壞。切勿跌落、擊擊或受到強烈震動。
- 將麥克風遠離極端高溫或潮濕的地方。
- 如果麥克風放置在揚聲器旁，則可能產生嗶嗶聲（声学反饋）。如果發生此情況，請將麥克風放置在距揚聲器更遠處，或者降低揚聲器音量。
- 如果在錄音過程中接觸麥克風，則將錄下雜音。請小心，切勿接觸麥克風，特別是您的頭髮、衣物等。
- 如果在錄音時改變麥克風拾音模式開關的設置，就可能產生雜音。

識別部件
（參見圖 A）

1 鎖扣旋鈕

2 熱靴連接器（端子）

3 擋風罩

罩在麥克風上，減少風或呼吸/突然响起的雜音。

注

由於擋風罩的合成毛皮很容易損壞，請小心操作擋風罩。切勿用水清洗擋風罩。如果擋風罩被弄濕，請將吹風機設定至中等熱量（氣流在手上感到溫暖，不要感覺燙手）小心將其吹干。

4 拾音模式轉換開關

請根據聲音來源進行設定。

90° 當拾取一個窄音場的聲音，或者是一個遠處的聲音（談話、樂器獨奏等）時

120° 當拾取一個寬音場的聲音，或者是一個近處的聲音（音樂會、劇院演出等）時

參照上表為一個大致的標準。

根據您的喜好選擇拾音模式。

安裝麥克風 （參見圖 B）

- 確保將麥克風的鎖扣旋鈕逆時針轉到底 ❶（參見圖 B-1）。
- 將麥克風底部箭頭方向 ❷ 指向攝像機上的箭頭方向 ❸（參見圖 B-1）。
- 將麥克風的熱靴連接器（端子）插入攝影機上的插槽 ❹，然後按箭頭方向 ❺ 滑動麥克風（參見圖 B-1）。

- 順時針轉動鎖扣旋鈕，直至旋鈕發出咯噔聲（參見圖 B-2）。

將麥克風的正面指向對象。麥克風可以旋轉 180 度以上（參見圖 B-3）。

若要拆卸麥克風

- 逆時針方向鬆開鎖扣旋鈕。
- 向下按麥克風，並按照安裝時的相反方向滑動麥克風。

注

如果麥克風難以拆下，請將鎖扣旋鈕逆時針轉到底。鎖扣鬆開。

規格

類型 MS（Mid-Side）立體聲系統

頻率響應 150 - 10000 Hz

拾音模式 90° 或 120°，2 級切換（參見圖 B）

操作溫度 0°C 至 40 °C

存儲溫度 -10°C 至 60°C

尺寸 約 32 mm x 74,2 mm x 66,5 mm（不包括突出部位）

重量 約 47 g

包含物品 立體聲麥克風（1）、擋風罩（1）、便攜袋（1）、成套印刷文件

設計和規格如有改變，恕不另行通知。

Active Interface Shoe

此標誌表示配合 Sony 視頻產品使用的有源接口熱靴系統。本系統配備的視頻組件和附件是為了有效的錄音更為簡單。

中文（簡）

操作本裝置之前，請通讀本手冊將其保留以備將來參考。

功能

本麥克風是專為配有源接介面熱靴的攝像機而設計。詳細說明，請參閱您攝像機的使用說明書。

- MS (Mid-Side) 立体声系统能拾取自然声响，传递超清晰的立体声影像。
- 可根据声源设置拾音模式（影响音场宽度）至 90° 或 120°。
- 可根据声源设置拾音模式（影响音场宽度）至 90° 或 120°。

注意事项

- 此麦克风很容易损坏。切勿跌落、敲击或受到强烈震动。
- 将麦克风远离极端高温或潮湿的地方。
- 如果麦克风放置在扬声器旁，则可能产生嗶嗶声（声学反馈）。如果发生此情况，请将麦克风放置在距扬声器更远处，或者降低扬声器音量。
- 如果在录音过程中接触麦克风，则将录下杂音。请小心，切勿接触麦克风，特别是您的头发、衣物等。
- 如果在录音时改变麦克风拾音模式开关的设置，就可能产生杂音。

识别部件
（参见图 A）

1 锁扣按钮

2 热靴连接器（端子）

3 挡风罩

罩在麦克风上，减少风或呼吸/突然响起的杂音。

注

由于挡风罩的合成毛皮很容易损坏，请小心操作挡风罩。切勿用水清洗挡风罩。如果挡风罩被弄湿，请将吹风机设定至中等热量（气流在手上感到温暖，不要感烫手）小心将其吹干。

4 拾音模式转换开关

请根据声音来源进行设置。

90° 当拾取一个窄音场的声音，或者是一个远处的声音（谈话、乐器独奏等）时

120° 当拾取一个宽音场的声音，或者是一个近处的声音（音乐会、剧院演出等）时

参照上表为一个大概的标准。

根据您的喜好选择拾音模式。

安装麦克风 （参见图 B）

- 确保将麦克风的锁扣按钮逆时针转到底 ❶（参见图 B-1）。
- 将麦克风底部箭头方向 ❷ 指向摄像机上的箭头方向 ❸（参见图 B-1）。
- 将麦克风的热靴连接器（端子）插入摄像机上的插槽 ❹，然后按箭头方向 ❺ 滑动麦克风（参见图 B-1）。

- 顺时针转动按钮，直至按钮发出咯噔声（参见图 B-2）。